

蝶ヶ岳山行報告書

山 域：北アルプス北部

コース：釜トンネル～上高地～徳澤～長堀山～蝶ヶ岳

日 時：2017年1月7日(土)～9日(月) (1月6日前夜泊)

天 候：1月7日：晴れ／8日：曇りのち雪／9日：晴れ

山行タイム：1月7日 釜トンネル 9:20⇒上高地トンネル 10:00⇒上高地観光センター 11:05⇒河童橋 11:50
⇒明神 13:00⇒徳澤(幕営地) 14:25

1月8日 幕営地 7:00⇒長堀山 11:10⇒蝶ヶ岳 12:15～12:30⇒長壁山 13:10
⇒幕営地 15:25

1月9日 幕営地 7:35⇒明神 8:45⇒河童橋 10:05⇒大正池畔 11:05⇒釜トンネル 12:45

メンバー：CL 内掘、SL 澤田(淳)、加藤、狩野、時田(食料/会計)、小宮山、萱野(香)、江橋(記録)

【山行報告】

1月6日(金)

今回の参加者8名は車2台に分乗し石川SAで顔合わせ後中央道松本ICより今晚の仮眠地道の駅「風穴の里」へ向かう。テント準備後今回の山行成功を願い軽く乾杯の後就寝。

1月7日(土)

6:00 ごろ起床、朝食時沢渡駐車場から釜トンネルまでのタクシーを予約しようとか何か所か電話するもなかなか予約できない。以前CL等が使ったことがあるアルピコタクシーの運転手個人の携帯番号がTさんの携帯に記録されており、何とか8:30 沢渡駐車場で予約完了。テント撤収後釜トンネルへ向かう。釜トンネル到着が8:30 となってしまう、それから沢渡へ戻る為タクシーを待たせてしまった。。。

ドライバーのUさん、KHさんと会計のTさんが戻るのを待ち9:20 出発。

釜トンネル内は照明が無い為ヘッドランプを点けて左側の歩道を進む。やや登り坂となっている。時々トンネル内の路面では大きく凍結した部分がある。反対側から車道を歩いて来る人がその凍結で見事に転倒。。。気をつけねば。

釜トンネル約1.3kmに続き昨年は工事中であった上高地トンネル約600mを歩く。上高地トンネルの完成により上高地までの距離が125m短縮されたようだ。

トンネルを抜け路面を見るとそれほど雪は多くないが、私を含む4人はアゲンを装着。しばらく歩くと可愛い猿のグループが出迎えてくれた。暖かいので日向ぼっこをしているようだ。人馴れしているようで全く逃げる様子はない。路面にも雪は少なく低山にも雪はほとんど着いていない。今年も今のところ雪が少ないようだ。



雪は少ないながらやはり美しい景色を楽しみながら幕営地の徳沢へ向かう。

私は今回初めての本格冬山装備でのテ泊登山で、これまた初めての共同装備を含め 20kg 近いザックを背負ってのアゼン歩行。肩が痛い・・・

しかし、昨年のゴールデンウィーク初めてちば山で残雪期のテ泊登山(CL Uさん)に参加させてもらった際、今よりもかなり軽いザックを背負ってのアゼン歩行ができず皆さんに迷惑を掛けたことを思い出す。

夏にこのコースを歩いた時は、平坦で退屈だと思った道が、重いザックを背負っている今は逆に平坦でよかったと思う。



14:25 幕営地徳沢へ到着。周りにはテント数張のみ。ツェルトもある。フライはあるものの寒くないのか？テントを準備後、私と S さん、KH さんは皆のプラティス、水筒を集め梓川に水汲みに行くことになったが、幕営地直近の支流は枯れて水は無い。どこまで戻れば良いのやら・・・と話しながら水を求め歩く。10 分ほど戻ったところで水の流れを発見。梓川本流のようだ。KH さんが準備万端、防水の為のポリ袋に手を入れ水筒で水を汲みプラティスに移していく。水深が浅い為プラティスに直接水を汲むことはできない。ナイア行ア！

今晚の夕食は体の温まるキチ鍋。生野菜スティックの味噌マヨネーズもとってもおいしかった。この日の宴会は盛上がり、皆の飲みっぷりも良い。周りのテントは離れている為怒られることもない。

20:00 ごろ就寝。



1月8日(日)

5:00 頃起床。私はその前に朝方寒さで目が覚めた。初雪山で着込みが足らなかったようだ。

朝食後必要最小限の荷物を持ち、7:00 蝶ヶ岳目指していざ出発！

天気は高曇り。顔が少し冷たいが、気温はそれほど低くないようだ。風も全くない。

今回の長堀尾根コースは樹林帯を進む為、風の影響を受けにくい、全く展望はない。

登山道に雪はほとんどなく土が見えている。トレースも着いている。2人がアゼンを装着したが、6人はツブ足で行く。今日はいきなり急登から始まる。

しばらく歩くと T さんが心臓の奥の方が痛いと言い出す。しばし休憩すると良くなったようだが、心配しながら T さんペースで進む。その後は問題なかったようだ。のちの分析の結果、飲み過ぎによる軽い脱水症状と推測された。

2000m 付近から徐々に雪が増えてきた。途中から全員アゼンを装着する。トレースで固められている場所は良いが、少し脇は大きな穴が所々に見えている。私は、木の枝を避けようと少しだけ右にコース外した時、見事に両足とも足の付け根付近まで大きな穴にはまってしまった。全身雪だらけになりながらなんとか立ち上がることができた。

11:10 やっと長堀山到着。遠くの山がよく見える。蝶ヶ岳頂上が楽しみだ。



蝶ヶ岳山頂付近は、樹林帯がなくなり吹きさらし状態だ。しかし、この日は幸いほぼ無風。気温も出発した時よりも高いようだ。

12:15 蝶ヶ岳頂上到着。見晴らしは最高！昨年の夏に苦勞して登った槍ヶ岳～大ヰット～穂高連峰が良く見える。感動で涙が出そうだった。素晴らしい!!!



皆最高の景色を堪能した後 12:30 名残惜しいが下山を開始する。

雪の上に時々ウサギやシカと思われる足跡がある。1 か所には肉球のある大きめの足跡があった。もしや子熊？この暖かさで目覚めてしまったか???

途中から小雪が舞い始める。樹林帯の為ほぼ影響なし。

15:25 無事徳澤到着。雪は段々激しくなってきた。

夕食準備の為の水汲みは、私と KY さん、KJ さんで行くことになった。昨日はザック 2 個を持って行ったが、今日はザックを使用した為、中が空の大きいザック 1 つに水筒、プレートスを詰め込んで出かけた。昨日、幕営地から梓川までの間は広範囲にわたり凍結していた。昨日は降雪が無かった為その場所が見て判ったが、今日は薄く雪がありよく見えない。KJ さんが少し滑った。危ない気をつけねば。と思っていたところ、私は少しよそ見をしたところ、見事に滑って転んでしまった。しかも、前向きに左の頬骨と左肩を強打。かなり痛かった。しばらく左目の視力が無くなった。。しばらくすると視力は回復したが、頬は青タンができそうだ。痛みを堪え立上がり数歩歩いたところで今度は後ろへ転倒、怖くて歩けない。。

なんとか水を汲みザックに入れてみると重さが 20kg 位ありそうだ。ザック 1 個で来たのは失敗のようだ。しかし私はさっきの後遺症でとてもこれを背負って帰る自信はないので KJ さんに背負ってもらった。帰り道もびびりながら KY さんの後に続く。今度はザックを背負った KJ さんが転倒。ザックのおかげで大したことは無かったようだ。

今晚の夕食は、「ラトゥイ」トマト鍋だ。正直私は液体のトマトはあまり好きではないが、これはとてもおいしかった。食担の T さんありがとう。今晚は、疲労の為か皆酒が進まない。外は雪が激しくなってきた。テントの結露が凄い。水が垂れてきている。

お開きの後、私は、昨夜の反省を生かし余計に着込んで寝袋に入ったが、暑くて、服を脱いだり、寝袋のチャックを開けてみたりして調整しようと試みたが、なかなか寝付けない。まだ 12 時前だ。その後しばらく眠ったようだが、何だか息苦しくて目が覚めた。風邪での鼻づまりの為か？テントの空気孔が開いていることを確認し寝袋に戻った。しばらくし、U さんも息苦しいと言って起き出した。外を見に行ったら U さんが雪でテント全体が覆われてしまい空気が入ってきていないと言って雪を落としたところ息が楽になった。

1 月 9 日(月)

朝、外に出ると景色は本来の雪山の姿に一変していた。一晩で 30cm 以上の積雪があったようだ。朝は雪も止み天気は晴れ。我々はすごくついているようだ。

朝食後、後片付けをしテントを後にする。私の荷物はかなり軽くなったが、水を吸ったテントとフライを持った人は来た時とあまり変わらないという(スマン)。昨日転んだ凍結地帯は積雪の為、なんとか転ばずに通過することができた。道には今朝何名か通過した跡はあるもののやはり多少雪を分けながら進む。行きと帰りで違う景色を楽しむことができる。雪を帯びた明神岳、焼岳が美しい。



やはり上高地までの道のりは長く、夏は気づかなかったが、結構登り坂が多い。
河童橋で2日前とは違う景色を堪能し記念撮影。
大正池畔でタクシーを予約し先発隊のUさん、KHさん、Sさん、KKさんが釜トンネルへ向かう。
私と他の3名はゆっくり休憩の後、後を追う。
往きには人数が多かった為か感じなかったが、トンネル内は真っ暗で歩道を踏み外しそうで怖い。
ストックで壁の位置を確認しながら進む。偶に歩道の淵に出っ張りがあり危ない。
12:45 無事釜トンネルを抜けた。
入浴、食事の後帰葉。この日の中央道は空いており渋滞なし。夏場では考えられない。

今回は、本当に素晴らしい山行ができました。CLのUさん、共に参加された皆さんありがとうございました。

～ 以 上 ～

